

病床機能	在住者(患者所在地)の医療需要(人/日)	流出者数(人/日)	医療機関(医療機関所在地)の医療需要(人/日)	流入者数(人/日)	流出入の割合(-)(人/日)	考察
高度急性期	581.1	254.9	408.6	82.4	-172.4	高度急性期の患者は流出超過。 流出先は相模原(北里大学病院)、湘南西部(東海大学病院)、横浜西部(聖マリ横浜市西部病院)が多くを占めている。 相模原及び湘南西部において一番多い流入元は県央。
	相模原	82.9	相模原	22.1		
	湘南西部	68.9	横浜西部	16.3		
	横浜西部	25.1	湘南西部	10.9		
	湘南東部	13.8				
	横浜南部	11.4				
急性期	1,848.7	537.7	1,635.1	324.1	-213.6	急性期の患者は流出超過。 流出先は相模原、湘南西部が多くを占めており、県央では受け皿が不十分なため、特定の医療機関との間で患者の受入れ体制が整備されていることがわかる。 相模原及び湘南西部において一番多い流入元は県央。
	相模原	194.0	相模原	83.8		
	湘南西部	139.1	横浜西部	63.7		
	横浜西部	46.6	湘南西部	48.6		
	湘南東部	38.6	湘南東部	32.3		
	南多摩	17.8	南多摩	20.9		
	横浜北部	17.3	横浜北部	20.7		
	東京都区中央部	11.7				
回復期	1,644.3	427.5	1,756.2	539.5		回復期の患者は流入超過。 流入元は、相模原が一番多いが、その他にも湘南西部、横浜西部、湘南東部、南多摩等多方面にわたっており、急性期の医療機関との間で患者の受入れ体制が整備されていることがわかる。 相模原において一番多い流入元は県央。
	相模原	152.8	相模原	129.5	112.0	
	湘南西部	88.2	湘南西部	90.1		
	横浜西部	37.7	横浜西部	87.8		
	湘南東部	37.3	湘南東部	55.8		
	横浜北部	21.1	南多摩	43.3		
	南多摩	13.2	横浜北部	29.8		
			川崎北部	20.0		
			県西	17.4		
		横浜南部	11.4			
慢性期 B	1,358.6	666.7	1,150.8	458.9		慢性期の患者は流出超過。 流出先は相模原が多くを占めており、特定の医療機関との間で患者の受入れ体制が整備されていることがわかる。 相模原において一番多い流入元は県央。
	相模原	310.2	相模原	98.2	-207.9	
	湘南西部	95.9	横浜西部	78.7		
	湘南東部	56.3	湘南西部	74.7		
	横浜西部	48.5	湘南東部	47.1		
	南多摩	29.6	横浜南部	24.7		
	県西	21.2	横浜北部	23.3		
	横浜北部	20.7	横須賀・三浦	19.1		
	横須賀・三浦	17.3	川崎北部	13.1		
	川崎北部	11.5	県西	13.1		
			南多摩	10.4		
			東京都区西南部	10.0		